

(2019.3 掲載) 構造物



自然石を用いた底張



水車小屋 (富山)



数十年前、型枠大工の担い手不足などから、曲線のコンクリート構造物ができなくなると聞いていたが・・・



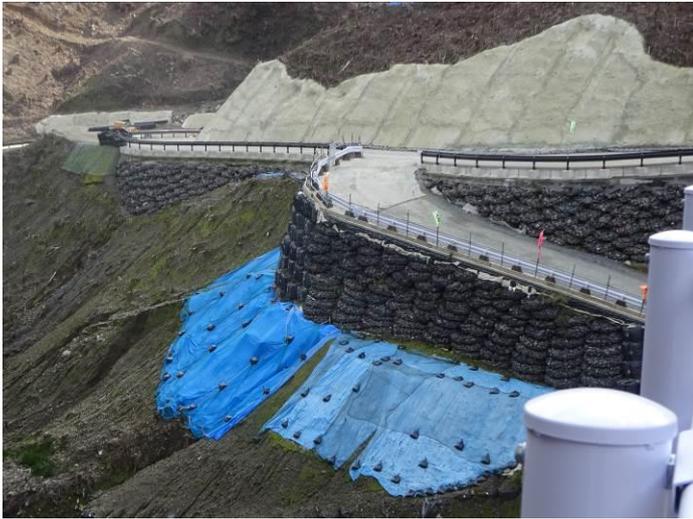
ダム浄化装置



微地形に密着したネットによる固定状況



鳥避け“凧”：棹先の糸に釣られて泳ぐ (長野りんご園)



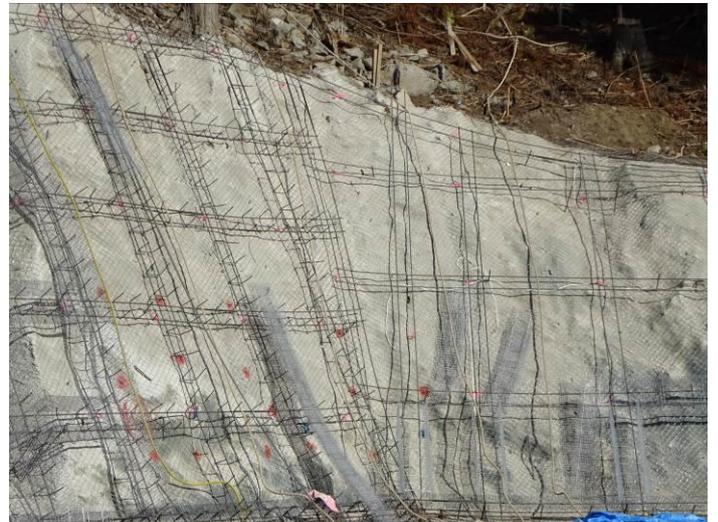
樹脂製ネット（内部は栗石）を積み上げた作業道



杭基礎による作業道



バックホウ（0.15m³）用足場（・・・意外と簡易）



法枠背面の素吹き（谷出口付近，排水パイプなし→水圧？）



巨礫を用いた石張り

○落石



簡易な落石防護柵（奥多摩）



H鋼を用いた例



H鋼（杭）とアンカーによる防護柵



巨大根固工



防護柵背面の堆積状況

堆積することでステップ(緩斜面)が形成され、緩衝材として利用できる。したがって、堆積土砂を除去するのではなく、右写真のように支柱を継ぎ足すことが適当。



応急対策例（嵩上げ）



谷出口を利用した防護ネット



防護柵の支柱を徐々に高くする必要がある斜面



ストーンガードの控えアンカー



コンクリートブロックによる応急土留



落石エネルギー吸収策
(支柱に取り付けたリングの変形を利用?)



ロープを二重にした例



古いロックシェッド（屋根が平坦状）

○那覇市内



琉球石灰岩（サンゴを主体とする数万年前の堆積物）の護岸



沖縄県庁（敷地が狭い）



隣的那覇市役所（マッチ細工のような）



表面は石灰岩の化粧板



擬木



中国からの観光が多いような...



普天間飛行場とオスプレイ
 整然とした米軍基地が面積的に多くを占有しており、
 これらが消滅すれば殺風景となるような気もする...



那覇空港
 自衛隊基地が隣接し、最大のスクランブル体制...
 これを含めた需要増のための第二滑走路建設では、沖縄での埋め立て（辺野古の倍以上とも）が続く...